



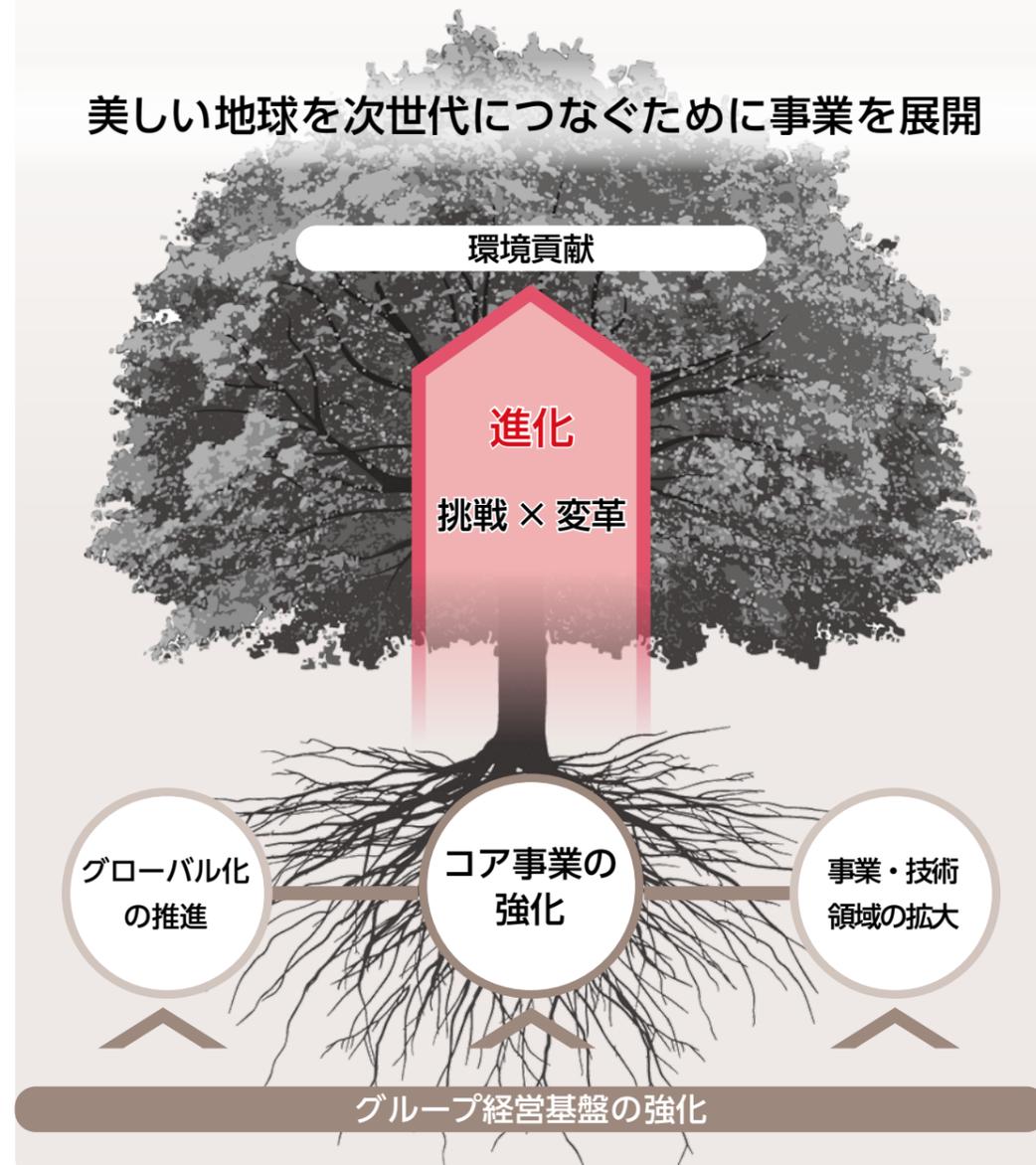
価値創造ストーリー

グループ基本戦略

成長の方向性は、「コア事業の強化」によりグループの主根を骨太にし、「グローバル化の推進」「事業・技術領域の拡大」により事業の根を広げることです。挑戦と変革を繰り返すことで、目指すことは「環境貢献」であり、経済的価値だけでなく社会的価値も高め企業価値を高めていきます。

日東工業グループは電気・情報インフラを守ることで社会に貢献してきましたが、加えて環境を守ることに貢献していきます。

美しい地球を次世代につなぐために事業を展開



環境貢献につなげることで、
経済的価値だけでなく社会的価値も高め、
企業価値を向上させる

挑戦 [機会への対応]と
変革 [リスクへの対応]を繰り返し
企業進化を遂げる

主根であるコア事業を骨太にする
「グローバル化の推進」「事業・技術領域の拡大」により、
事業の根を広げる

事業を支える盤石な土壌を築きあげる

価値創造プロセス

日東工業グループの価値創造プロセスを1枚絵で示したものです。起点は一番左にある環境認識であり、常に社会課題を起点に考え、社会課題を解決することで社会的価値と経済的価値の両立により企業価値を向上させていくことが持続可能性を高めると考えています。





長期成長ストーリー

日東工業グループはVisionである「誠実に問題解決にとりくみ 新たな価値創造に挑戦しつづける」を掲げ、成長しつづけるグループになることを目指します。

バックキャストによる戦略策定と実行により目指す姿を実現するために各中期経営計画期間の位置づけを明確にしています。

Mission

地球の未来に「信頼と安心」を届ける

2026中期経営計画

挑戦

機会への対応

ビジネスの拡大

社会課題の解決を通じて世の中に「信頼と安心」を届ける

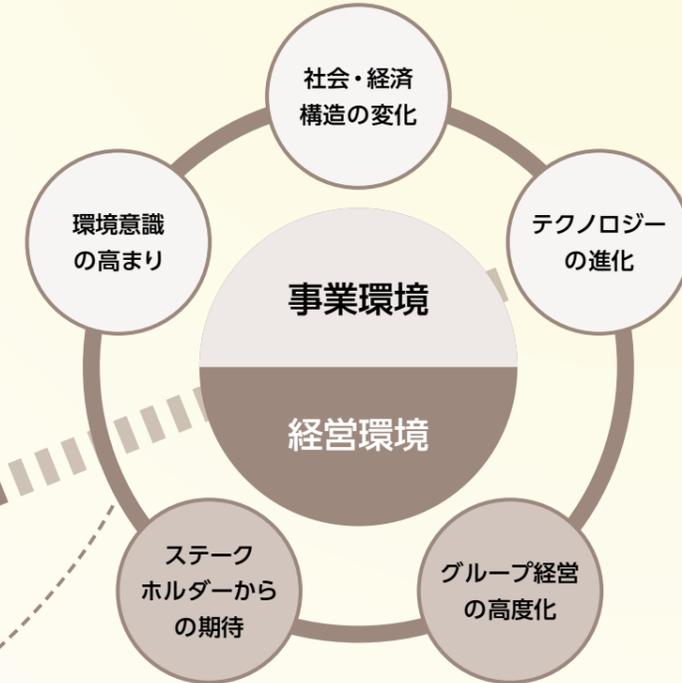
変革

リスクへの対応

経営基盤の強化

大きな社会変化にも対応できる強靱な企業体質を築く

次期中期経営計画



バックキャスト



- 解決すべき社会課題を特定
- 大きな社会変化を伴う未来観・未来像を想定

Vision

誠実に問題解決にとりくみ
新たな価値創造に挑戦しつづける



環境認識

長期経営構想の前提となる認識すべき環境認識を記載しています。上段に事業に関する環境、下段に経営に関する環境という形で整理をしています。事業環境については、サステナブルな社会の実現として、環境意識の高まり、社会・経済構造の変化、テクノロジーの進化について認識すべきと考えています。また、経営環境についてはプライム上場企業の責務として、ステークホルダーからの期待に加えて、グループ経営を高度化させる必要性を認識すべきと考えています。

事業環境

持続可能な社会の実現に貢献するために事業を展開するうえで認識すべき環境

環境意識の高まり

- カーボンニュートラルへの対応
エネルギーシフト／モビリティ電動化の進展
資源活用／循環型経済
- 自然災害の激甚化
- 水セキュリティ意識の高まり

社会・経済構造の変化

- 労働人口減少、少子高齢化
- 都市の老朽化
- 地政学リスクの高まり
- 社会や人の価値観の変化

サステナブルな社会の実現

環境・社会・経済の
持続可能性への配慮により、
事業の持続可能性向上を図る経営が必要不可欠

テクノロジーの進化

- データ量の爆発的拡大
- デジタル技術活用の急速な広がり
- AI・IoTの急激な進化
- 電動化・電子化・自動化の進展
- サイバーセキュリティリスクの増大

事業環境

経営環境

経営環境

責任ある企業として、ステークホルダーからの期待に応え続けるために認識すべき環境

ステークホルダーからの期待

- 資本効率を意識した経営
- 資金の適正配分
[成長投資／株主還元]
- 非財務情報の開示要請
- 高度なガバナンス体制

プライム上場企業としての責務

グローバルで多くの
機関投資家の投資対象になり、
高いガバナンス・持続的な成長・企業価値の
向上が必要不可欠

グループ経営の高度化

- シナジーの創出
- 成長事業への迅速な投資判断
- 事業ポートフォリオマネジメントの高度化
- リスクマネジメントのレベル向上

マテリアリティ

それぞれの環境変化に応じて、機会への対応として「挑戦」、リスクへの対応として「変革」と表現しています。事業拡大への挑戦と事業継続性を高める変革の両面で重要課題を設定しています。また、この「挑戦」と「変革」を支えるための基盤として、ステークホルダーからの期待に応えること・グループ経営を高度化することが必要であると考えています。

挑戦

社会課題の解決を通じて世の中に「信頼と安心」を届けることで事業拡大に挑戦する。

挑戦

機会への対応

変革

経営基盤を強化することで、大きな社会変化にも対応できる強靱な企業体質に変革する。

変革

リスクへの対応

事業環境の変化に伴う重要課題

環境意識の高まり

- ▶ 環境に優しい製品・サービスの提供を通じ環境負荷低減活動を推進し、脱炭素社会・循環型社会の実現に貢献する
- ▶ 防災・減災に関わる製品やサービスの提供により、強靱な社会の実現に貢献する

社会・経済構造の変化

- ▶ 生産性向上に資する製品・サービスの提供により、人口減少社会に貢献する
- ▶ インフラの更新・予防保全に関わる製品やサービスの提供により、強靱な社会の実現に貢献する

テクノロジーの進化

- ▶ IoT・AI・ロボティクス技術の進展を支え、ニューノーマル社会の構築に貢献する
- ▶ デジタル技術を活用した生産・販売システムの構築など、利便性の高いサービスを提供する

- ▶ 自然災害リスクに備え、事業継続性を高める

- ▶ 地政学リスク軽減につながる強固なサプライチェーンを構築する

- ▶ サイバーセキュリティを強化する

- ▶ 環境に配慮したサプライチェーンを構築する

- ▶ 業務改革により効率化を高める

- ▶ 業務プロセスの改革を実現するデジタル化の対応力を高める

- ▶ ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョンを推進する

経営環境の変化に伴う
重要課題

ステークホルダーからの期待

グループ経営の高度化

- ▶ 「挑戦」と「変革」を支える強固な基盤を構築